

昭和45年5月13日発行

SHC 横浜支部

横浜市保土ヶ谷保土ヶ谷
1-24 鈴木国之方

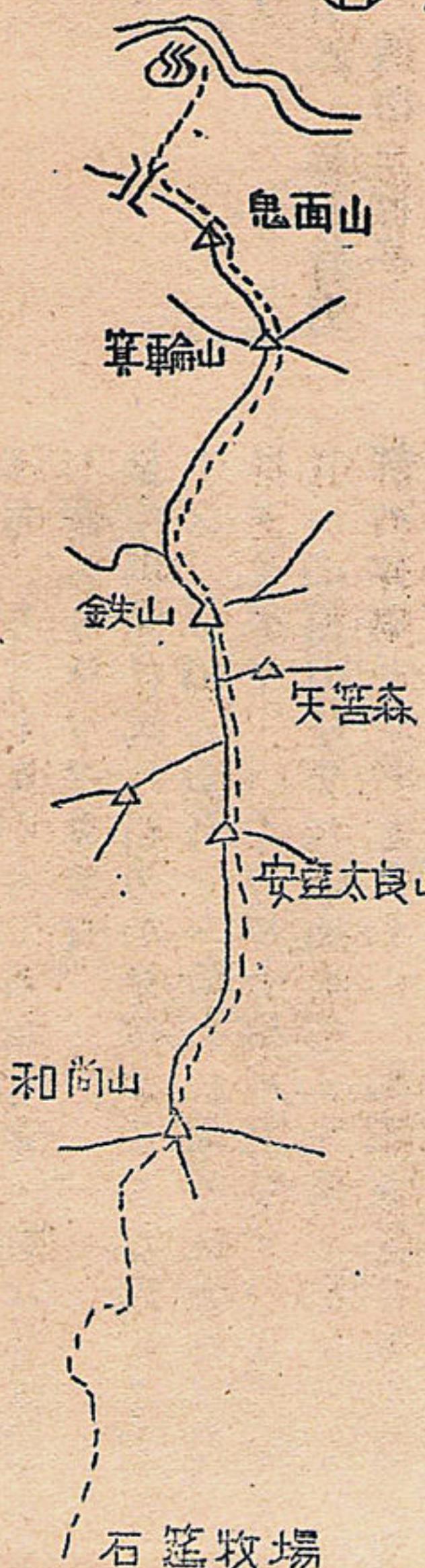
編責：中村嘉宏

第180回 支部山行 夏山トレーニングコース 健脚向き

安達太良連峰完全縦走

野地温泉

6月21日（前夜発 雨天順延）



徒步	約11時間
費用	約3,000円(交通費)
携行品	弁当2食 雨具 水筒
係り	久保田 浩 241-5380 要申込 脇 美英子
集合	6月20日(土) (中央) 午後9時 横浜駅7・8番線ホーム
コース	上野 ——磐梯熱海 タクシー ——石筵牧場 ——和尚山 —— 安達太良山 —— 鉄山 —— 箕輪山 —— 鬼面山 —— 野地温泉 バス 福島 —— 上野 横浜着 23:00頃

みちのくの空に大らかな曲線を描く
安達太良山。
アルペン的風貌を持つ荒々しい岩稜
から緑なす草原へと、変化と大展望
に恵まれた縦走コースです。

石筵牧場

第1回支部山行報告

棒ノ折山（4月5日 本部集中）

参加者

吉岡信子 安室光江

久保田治 関野昌 石山武

竹田明 佐々木美智子 渡辺三世子

伊藤信子 外2名

石井春男

コースタイム

横浜	7:19	川井	10:15	10:20	百駒
茶屋	11:40	12:15	棒ノ折山	13:45	
14:40	15:15				
岩音石山	16:30	16:45	川井		
17:50	18:02	横浜	20:30		

ます。ワサビ田がなくなる頃から道は奥に急登となり楽しくなってきます。

集中時間14時に15分の余裕をやつと残して到着。コース、参加人数等を一覧表に書き込みました。山頂は三々五々、いくつかの輪が出来ていて賑かです。丸い山頂の中央に参加者百三十名が集まつて、他支部の仲間と挨拶を交わし、時間を急ぐ我々は、早々に黒山、岩音山めぐして下りにかかります。

約三時間、長い行程でしたが気分良好のコースでした。見慣れた広いバス道を川井駅へ急ぎ、電車に沢山乗つて、黒山、横浜に到着しました。

第178回支部山行報告

御荷鉾山（4月18日・19日）

参加者

(係)

中山一童

佐々木美智子

久保田治

浅井俊明

山田

吉岡節子

渡辺闘代

齊藤隆子

子

渡辺三世

渡辺三世

渡辺三世

渡辺三世

渡辺三世

怪しい空模様、帰るなら今の内だよ。係帰ろうよ。心配した天気を何とか持直して乗り疲れた車からやっと解放され、紫の支部旗も高々と横浜支部一連隊が百駒茶屋へのバス道を、ボヤ기가や進みます。

コンニヤクのおサシミ食べた事ありますか。一百円は高いけれどワサビ醤油で食べるのも又二年もの。歩き始めてから一時間二十分。もうラバ十一時半。昼食をすませ左右のワサビ田を眺め

コースタイム

上野	8:18	高崎	18:53	500
万場	20:39	池ノ平	20:45	35
	9:35		9:40	340
	2:35		2:40	25
	5:35		5:40	15

15
39 鬼石 新町 17.10.5 17.53 大宮 19.19

あいにくの雨模様の中、4月の支部山行地御荷鉢山に出かけたのは、18日の事でした。上野より高崎までは、いわゆる通勤電車を利用した為、こんでいましたが、全員すわって高崎へ。そこから今日の宿泊地万場までは、急力バスの連続する道路をタクシーで一時間余、22時着。翌日は、午前七時起床。天候が心配でまず外を見ましたが、どうやら晴れ上り安心。朝食のあと八時に出発です。登山口は昨日来た道を少し、もどった所にありました。そこからは、気奈沢沿に林道歩きです。その道の両側には、シイタケの種を植え付けた丸太が、きれいに組立てられて、並んでいました。その林道より別れ、まだ若葉がはえそろわない木々の間をぬりつて一登りすると、両神山や、ニ子山の眺められる小さな平地、池、平です。

☆ 青春牧場

一、若い黒牛 黒牛が可愛い牛に、あのねと云つたあのねのその後、云々なんだだから牧場は、春なのがいつでも牧場は、春なのが空さえ毎日、若くて青い風さえ強くは、吹かなんだ

佐々木 記

二、遠い山々、峰の雲
くりかえし

の不安定な天候では、良いはずの展望は得られませんでしたが、秩父や表固を見る事が出来ました。東御荷鉢より投石峠をへて、鋭角的な山容を持つ、東御荷鉢へは約一時間強、少し歩いては休み、のんびりと歩きます。東御荷鉢山頂は、西御荷鉢山頂ほどの広さはなく、展望モ樹木がじやましてききました。私達は、寒さも手伝つて、その山頂を早々に後にして、法久へ下りました。

お知らせ

◇新入会員紹介

石川一男 磯子区岡村町七三五

岩崎浩明 横須賀市日出町三ノ十三

◇個人山行の誘い

「美が原から霧が峰」 6月7日8日

係り 久保田 南野 銀木

申込

Tel 045 (741) 2642

銀木

羊年

行事予定

6月10日 例会 於婦人会館

6月21日 才180回支部山行

（係り）久保田治

脇美英子

安達太良連峰
完全縦走

5月17日 才179回支部山行

雲取山

（係り）足立久子

中山一重

行事報告

4月8日 例会 於婦人会館 出席23名

4月18・19日 才178回支部山行

御荷鉾山
参加9名

次回例会

6/10

（水曜日）

PM 6:00 -
PM 9:00

婦人会館

ドブ定氏
イル予田
ラ写保
ス北映久

第 31 号

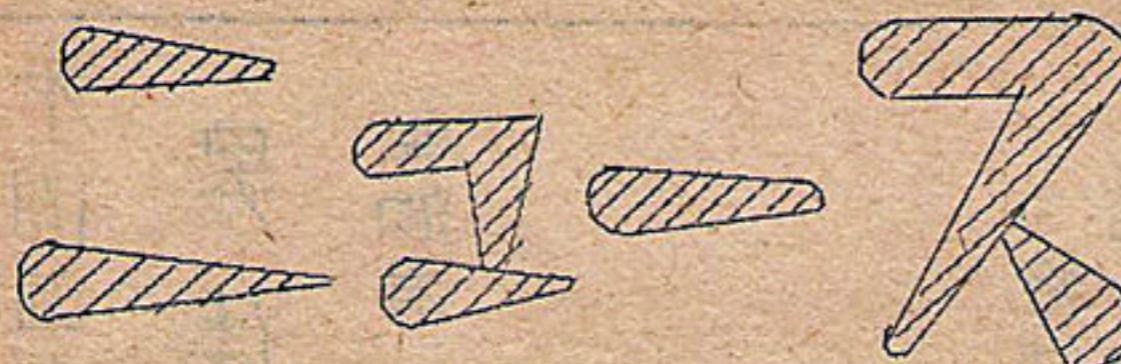
昭和 45 年 6 月 10 日

S.H.C 横浜支部

横濱保土谷区保土谷町 1-24

鈴木国え

編 著 吉岡 信子



* 181 回 支部山行 北アルプス ダイヤモンドコース(半縦)

薬師岳 ~ 笠ヶ岳

7 月 23 日(木)夜 ~ 28 日(火)

◎ コース 富山 → 小見 巴ス 折立峠 ----- 太郎小屋
←→ 薬師岳 (2,950M) --- 黒部五郎岳 --- 黒部五郎小屋
----- 三俣蓮華岳 ----- ヌヌ六岳 -----
鏡平小屋(泊) ----- 抜戸岳 ----- 笠ヶ岳(泊)
----- 槍見温泉 タクシー 松本 -----

◎ 費用 ￥12,500,- (日賃とお金のないオオお断わり)

◎ 係 石山武・中野善雄・中山一重
(261) 0353 昼間のみ

今年もアルプスの山々を心ゆくまで歩き、植物畠の中に、女の花道の中に残雪とわたしのようにかわいらしい花を見つけましょう。

尚列車その他全部予約なので早目に申込んで下さい

(6/15 迄です)

オ 179回支部山行報告

男体山 (5月17日 夜行日帰り)

参加者 (係) 中山一重

吉岡信子 石山武 竹田明 渡辺三世子
湯浅しおぶ 腸美英子 山田進
岩崎浩明 杉原照夫 善波英雄
恒見信子 他4名

釣れるそだ。途中、格好な所で大休止をとる
二とにし、ポンチヨを4枚あわせて天井を張る
。狭い収容所の中で16名ひしめきあい、食事を
取る。晴れることを知らない空がうらめしい。
湯の湖についた頃、ようやく空も明るくなり白
根山がチラリと山はだを見せた。まだ雪が残つ
ている。一同が雨具をしま終るとまた降りだ
してきた。

「絶対に晴れるよ!」とリラ中山気象庁の言葉
を信じつつ、あり変わらず降りづく雨の中を、
日光駅に降りたつ。とりあえず中禅寺温泉まで行
くことにする。朝もやの立ちこめる中であざやか
に映えるのはヤシオツツジ。このツツジはね、
日光の名物なんですよ。バスの運ちゃんが自慢
気に話してくる。

さて、これからどうしよう。雨はちょいとやみそ
うにな。目的の男体山を断念し、山田代原へ行
くことに決定。菖蒲ヶ浜でバスを降り修学旅行並
みに竜頭の滝を見学してから出発。新緑にはまだ
早い戦場ヶ原の歩遊道をのんびりと歩りて行くと
、あちこちで釣糸をたらしている人が目にうつる
。この辺ではにじますやバー・レットとかいう魚が

二これからどうしよう。まだ11時。東照宮へ行
こう。いや帰ろう、意見は別れたが、結局東照
宮見学としゃれ込む。西参道から入り、やぶさ
の先は金230円の拝観料をとられるので当然の
ことながらリターン。
帰りは「クブリツジ」大会。駅のホールにす
ぐ入り込みポイ!チイ!と氣勢があがる。電車のす
中でま玉勝負。女性上位の波にのつてか当支部
の女性は強い。男性諸君のなお一層の努力と奮
起を期待し、雨のあがつた浅草におられたつ。

コースタイム 横浜発21:40

横浜着19:06
この間のコースタイムは何の参考ともなら
ないのであえて記載しない。

「思い出」 吉岡 信子

支部山行 北アルプスの原稿を見ながら ガリガリをしていたら $4\frac{1}{2}$ 雲の平から野口五郎岳を歩いた時の事が思い出され 記録ノートを開くとこんな事が書かれていました。

『いいちゃん(転場の友)が雲の平へ行きたい 行きたいと言っていた。そして私に本を貸してくれた。それを読んで“私も行きたいなあと思った。でも夢のような事で”まさか実現しようとは想像もしなかった事だった。(中略)

北アルプスはるかかなたの存在がズッと目の前に迫ってきた思い出だった。早速本を買って読む、連續して歩いた経験もないし、どんな所を歩くのか本だけではよくわからない。SさんやNさんに会うと私が行かれる所かしらという質問がますます最初に口に出てしまう。とに角 どんなにつらくても一生懸命歩こうどんなに苦しくても北アルプスへ行かれた喜びの方大きいただろう。そう考えた』

以上が長々とした前置でこの日以来「北アルプス」という言葉私の所有物の一つになったのです つたない経験にはすぎませんが 当時の私と同じ立場いるあなたに読んで頂きたかったのです。

ボーリング大会へのお誘い

6/27(土) PM 8~10
(遠方の人は送ります)

2ゲームトータルで賞品を
1・3、2とバツゲーム賞
進呈

費用 200円 組 竹田中山

ミー聞き覚えのある名前ですが
花と名前が一致しないオ大勢いらっしゃるのではな
今年の課題は高山植物を覚える
事と致しましょう
夏山シーズンが終ったらテストを
します
高山植物にうんと強くよって
石井さん、鈴木さんをしばらせな
川よしがんばりましょ、つ
それにして似た花がたくさん
ますよね

P
Rのペ
ージ



お知らせ

◇5月から入会しました どうぞよろしく。

杉原照夫 横須賀市佐野町334

善波英雄 平塚市新宿1-220

恒見信子 横浜市西区向ヶ谷64

◇住所変更

佐々木隆 調布市小島町444-23 川崎方

賀美英子 平塚市代官町145-24

行事報告

5月13日 例会 於婦人会館 出席27名

5月17日 オ17回支部山行 男体山

参加16名

行事予定

6月21日 オ180回支部山行 安達太良連峰縦走

係りく 久保田 脇

7月8日 例会 於婦人会館

7月24-28日 オ181回支部山行

北アルプス薬師岳・笠ヶ岳

翁リ、石山 中野 中山

今5月の支部山行雲取山は係の都合で変更しました。

◇例会で勉強した11事項がありましたら鎌木マテ、

次回例会

7/8

(水)

PM 6~PM9

婦人会館

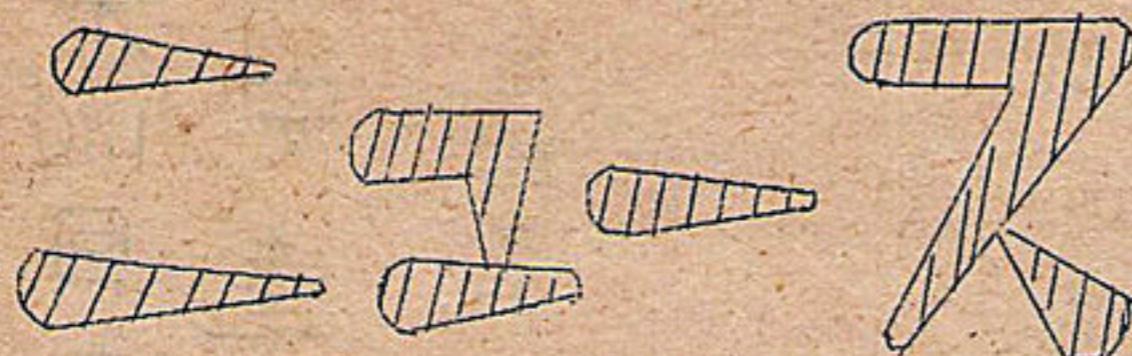
オ132号

S. 45. 7. 8.

S·H·C 横浜支部

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町1-24 鈴木国

編責 吉岡信



オ182回 支部山行

丹沢 流れノ沢

8月 16日 (日) 日帰り

コース 横浜 ----- 渋沢 ----- 大倉 ----- 流れノ沢
----- 堀山 ----- 大倉 ----- 渋沢 ----- 横

徒歩 約 6 時間

費用 約 500円

携行品 弁当、雨具、替靴下、足袋 etc.

集合 8/6 横浜駅 相鉄 改札口 a.m. 7:00

係り 石井 春男



暑い時は沢歩きが最高！
ワラジでヒョウシャヒョウシャや、
天然ワーラーの中で大川に
遊びましょう。

第180回 支部山行報告

安達太良連峰

参考者

(係) 入保田治 腸美英子

佐々木隆 山田進 石川一男

善波英雄 宮川(弟) 中山一重

吉岡信子 渡辺闘代 斎藤隆子

阿部早苗 小林正江 田見信子
松井百代

ユースタイム 上野(23・54)磐梯熱海(4・54)

6⁰ (腰切) 6・20 (6・30) 石筵牧場 (6・40)

大滝沢 (7・20 ~ 7・25) 川渓谷 (7・25 ~ 8・10)

和尚山 (10・35) 安達太良山 (12・18 ~ 12・45)

薬師岳 (13・50) リフト乗継 (4・05 ~ 4・14)
20 (4・20)

山道泉 (15・15 ~ 17・02) 二本松 (17・25 ~ 17・57)

出発の午前中まで雨が降り続^キき残念ながら来週に延期かと思われたが、どういづけかお昼頃には太陽が顔を出し、決行となつた。上野を出発するころから雨が又もや降り出して来たが、とにかく明日の朝日を覚した時に太陽が笑つていることを願つて汽車に乗り込み出発。

翌日は願ひが通じたのか曇ミリ空ではあるが雨も上り、磐梯熱海に到着、早朝の為バスもタクシーも無し、縦走は無理かと思われたが、ベテラン氏の必死の努力により、トラックをチャーターして、前後左右に桂ながら一路石筵牧場へ、牧場を出発するころまずは雨(先が思ひやられます)途中雨が降ったりやんたりする中をもくもくと歩き出す。沼を渡つてようやく和尚山への登りが始まり登山道から牧場へ入る轍を体を横にしながら通り抜け(この意味わかりますね、なぜって樹の間がせま^いんだもん)しつかりとした道だが

なり スポンを濡らしながら 前進。しかしながら 左右には ツツジが咲き乱れ 雨に映えて 私達の目を楽しませてくれた。

和尚山へ着く少し前から 風もまさつて 雨が降り出し 安達太良山へ向う間は、ボンヨ

も飛ばされ さうになりながら 告ズボンは

ビックショリ、その内 草の中まで水が入り

一步 二歩と歩くたびに グシャリ グシャリ、

山頂に近く頃は 岩が多くなり 雨に体

をうつして 何を思つか コイワカガミが花を咲かせてくる

これから先は 雨のため 繠走をあきらめ

岳温泉へ下ることになり、山に未練を残して 残雪を見ながら、足どりも重く下

山（靴の中に水がたまつたんだよ。）
できるだけすこした汽車に乗ろうといふことになり 新ハイサークス チェーンである

水戸屋にて ワラジを脱ぎ 一風呂あび

後にして 二本松駅へ、すわれるかどうかと思われたが 全員すわり、太陽も顔を出して我々を笑顔で送ってくれ 無事 上野に到着。支部山行も連続して これで 3回も 雨に降られたが、来月はなんとか晴れてもらいたるものです。（S.Y.記）

S.45年度 SHCの夏のキャンプ

恒例の合同キャンプが左記の通り決定しました。
詳細は次月ニュースに掲載します

○期日 8月29～30日

○場所 秋川渓谷・星竹キャンプ場
五日市駅よりバス12分

○係 中山一重、竹田明

お知らせ

◇ 6月から入会しました。どうぞよろしく

松井百合 横浜市西区西戸部町23-175

○個人山行

ク月12日(日) 丹沢セドリの沢 (係)竹田

集合 横浜駅相鉄連絡口 ク時

行事予定

ク月24・28日 オ181回 支部山行

北アルプス奥算額岳 (笠ヶ岳)

(係り) 中野、中山

8月12日 例会 於婦人会館

8月16日 オ182回 支部山行 丹沢流れノ沢
(係り) 石井

8月29・30日 合同キャンプ

秋川渓谷星竹キャンプ場
(係り) 中山、竹田

行事報告

6月10日 例会 於婦人会館 出席 30名

6月21日 オ180回 支部山行 安達太良連峰縦走

参加 16名

次回例会

8月12日 (水)

婦人会館

6:30 ~ 9:00

昭和45年8月12日

SHC 横浜支部

横浜市保土、谷区保土、谷町

1~24 鈴木国之古

編集責任者 竹田 明

オ184回支部山行

---伊豆の山---

天城山

-1406.8m-

9月20日(日)一日帰り伊豆山上

---コース--- 横浜 大船 伊東
6:54 下り

天城高原ゴルフ場 --- 万三郎岳 ---

万三郎岳 --- ハ丁池 --- 天城峰

--- 三島 --- 横浜 (2:41)

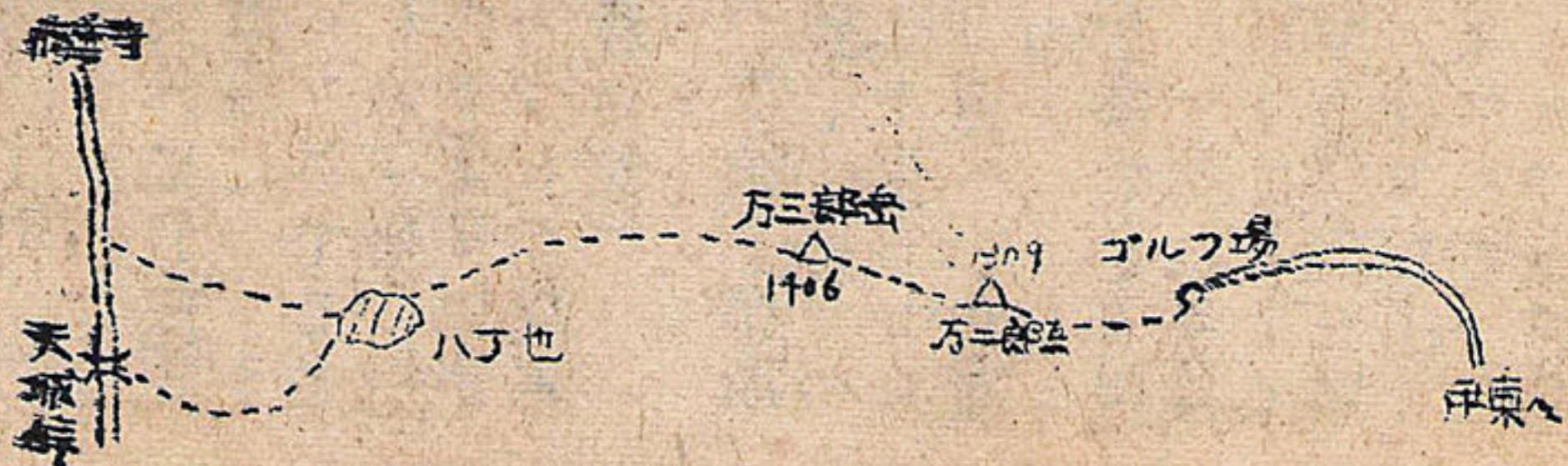
---歩程--- 約3時間 行東、修善寺、伊豆

---費用--- 約600.- (タクシ达利用しますので
多少変更あります)

---備品--- 弁当、雨具、マタ

---集合--- 横浜の方は6:54乗車 15・6番木-L地下道上
大船 " 7:10 "

---係--- 内田栄子 tel 871-3168 裏邊三世子 ^{tel} 0467-42152



第181回 支那山行 故事

卷之三

北アルプス
7/24
7/28

参加者 中山一重(孫) 渡辺二世子(孫) 中野善雄(孫) 松井百代

中野善雄
孫

早朝の小貝駅に降り立ち、車中来年庄
のガレンダーを撮りに来た人を譲り予約
していたタクシーで折立峠へ向う。
有峰ダムを右に見ながら折立峠着、用
竟を整え、早初からの急登を登り初めう

スローバースながらも高原状の屋根に
出る。左右のニッコウキス、ゲサ咲のながに
止とし、畠田の食事とする。木場で大休
高原状の道を行くと太郎平小屋到着。
ツクをあすけ、今日の目標である薬師岳
へ向つ。愛知大瀧難碑、
過ぎ、左右の花を楽しみながら行くと薬師平を
山莊に着く。山莊前から登る處はガレ

朝日に輝く糸岳に、「おはよう」の挨拶をして出發し、岳へと進む。左手に雲、平、前方に特徴ある黒部五郎岳。姿が見える。五郎岳、遠かむ。こうには豈ヶ岳のマ、イワカガミ、ハクサンイチゲ、ツツマシく咲いている。上、岳の大休止の後、黒部五郎岳へ、わいにく頂上は濃霧につつまれて早々退散。力一ドルでゆくり休むことどにする。雪渓で尻ビードを染しみ、熱い紅茶にする。舌づつみさうぢまつたく天下泰平である。この力一ドルを抜ければもう今日の終着矣。黒部五郎小屋である。(叢山記)

四四三

七日二十五日、今日晴天。黑部五郎小
一屋の脇り直登に近い道を端き登る。登りつ
めるとそこは草原地帯、眺望はすばらしく
思わずシャツターキをきく。振り返へば真
空に御岳がうかんでいる。
、遠松とあ花畑の氣持よい道を進むと三俣
蓮華山荘と分岐で小休止した後、一気に三俣
槍ヶ岳を中心につゝ山頂の展望はすばらしく
前ひらける。二度大休止、穂高の稜線が眼
としめじみ思う。名残りをしきつとお走

父岩でのラーメン作り、そして心良い風
寝を充分体力と、のえてから抜戸岳へ
と向う。ガスられたりはしたが最後の笠
への登りはまったく恋人に逢う心境だ。仲間
胸に込めることができた感概。ビルの
で乾杯、今夜は早く深い眠りに入つた。
(甲山越)

最終日

笠ヶ岳山荘から御来迎を見、記念写真

の後、笠ヶ岳山頂に到る。山頂から見渡
リ、タードの指名のもと、山頂から見渡
せる山々の魅張、黒部五郎、双六、う折
等、槍ヶ岳はもちろん! と云う事を
今までよくやした。山頂からは先場の下り道となり、しば
らく行くとまき道となるが結構険しい道
である。そこで大休止、冷たい木と肉食で疲れ、木
をいやし、おなじ様な道を下り続け丸木
橋をミニ回復、そのまま先場の下り道となり
タクシーガ客を乗せて出ようとする所
例の人人が例り物くつかえ交渉開始、一度生
予を出し、前

*183回支部山行

合同キャンプ

秋川溪谷星竹キャンプ場
日・8/29(土)～8/30(日) (五日市駅よりバス10分)

・当支部では参加者の都合により刻ま
らは午後から行く人と思いま
るで係まで申し出下さい。

・テニトを拜参する予定です。

・参加費は100.- (他に食料費、幕資等)

・寝具は毛布50.- フトン100.- あります。

・條一中山一重

手に受けた
外にこぼすな
マツタケの木へゆく
翌アモトイレ記より

お知らせ

新しい仲間です皆さんよろしく
福田智恵子 保土ヶ谷区鎌谷町二丁目九

高校生の息子がありますが軽い山行
には参加したいと思ひます
須山由美子 西区嵐野一丁目五十一
日本光学に勤めてあります
（力メラはぜひ二コンをどうぞ？）

今年の夏山は各パート、ピモ横調に終つ
たようですが今の内にじきに名号の発表
を書いておいて下さい。

年に一回の決算リ今回は8月16日に行な
われます（多數参加下さい）

（横浜駅相鉄改札口附近）

本部会費の払込み続々会計（吉田）が代行し
ておりますのでご利用下さい

毎月の例会、二番堂やアリテアがありま
したう事までお願いします

次回例会
9月9日
PM 6:30
於・
横浜市
婦人会館
行にあり方、参加例会ね。
出来ない方、さうね。
こは来て下さい。

行事報告	7月24日	例会	於婦人会館出席名
	8月28日	北アルプス	オルガ回支部山行参加名
行事予定	8月16日	オルガ回支部山行	
	8月29日	丹沢の沢歩き（係右井）	
	9月9日	秋川渓谷星竹千ヤンブランプ場	
	9月26日	秋川渓谷星竹千ヤンブランプ場	
		例会於婦人会館 （6:30pm）	
		天城山行 （宿泊）	
		山行	

NO.134

NEWS

昭和45年9月9日

SHC 横浜支

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷
1-24 鮎本国民館

編集 磐島恵子

第186回支部山行

越後の山 大源太山 --- 1607m

10月25日(日) 一夜行日帰雨天中

・コース

上野 --- 土樽 --- 墓峠 --- 七ツ小屋止

--- 大源太山 (往復)

・歩程

約12時間

・費用

約2000円

・携行品

弁当2食分、雨具、懐中電燈、ETC

・集合

横浜駅7・8番線木一山地下道上 P.M. 8:00

上野発 22:12 長岡行乗車予定

・係

渡辺開代

西区糸松町4-21

TEL (241)-1818



第185回 支部山行

“新ハイラリー”

箱根 矢倉岳 867m

9月27日(日)一日帰り雨天中止

○コース

横浜—小田原—新松田 バス 地蔵堂

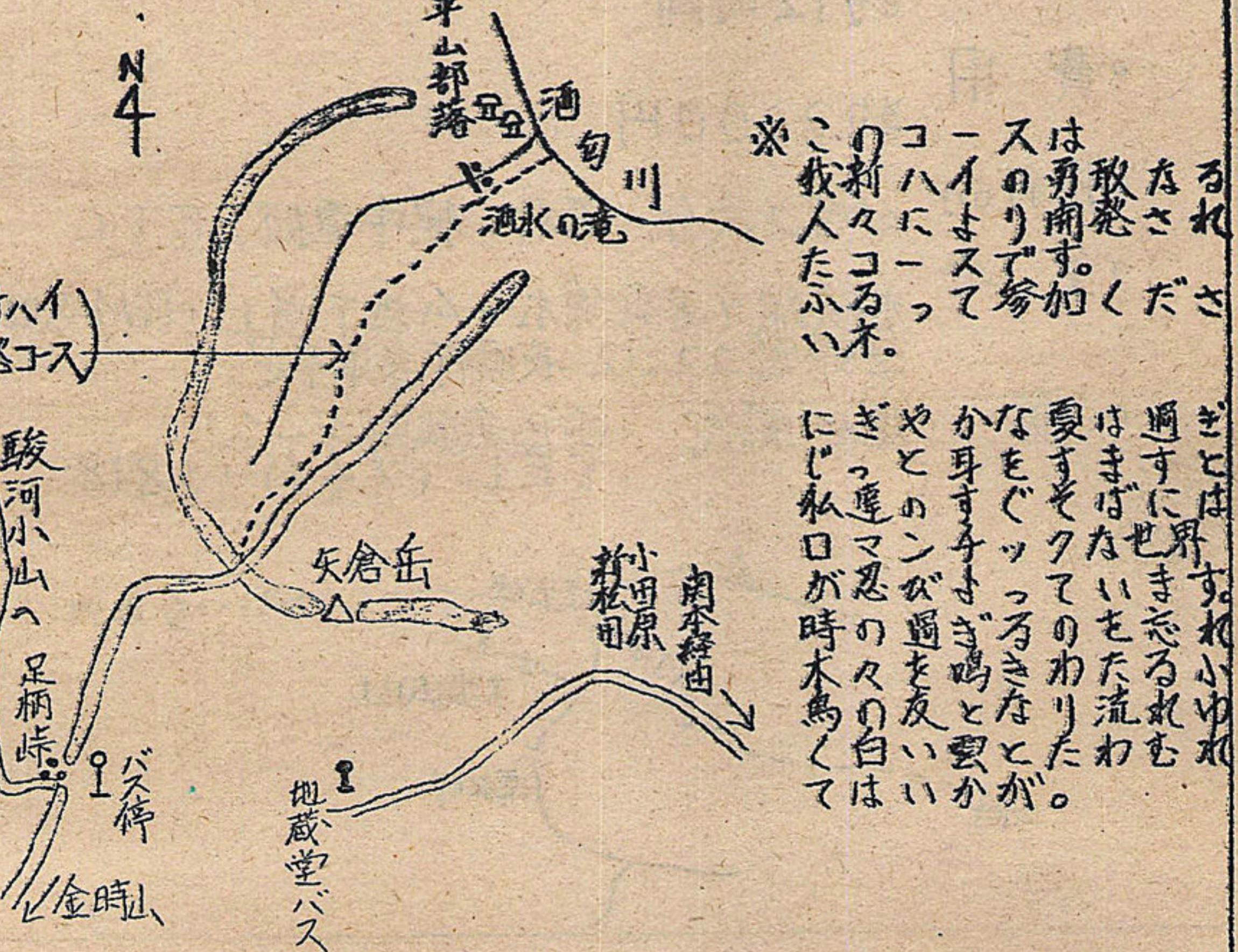
—矢倉岳—酒の窓—山北—国津—横浜

弁当、雨具、エサ

横浜駅 5.6番線木一ム地下道上 am 7:00 集合
7:09 小田原行 最前部乗車 (大船 7:26, 幸運 7:47)

○係 勝美英子

N4



お 知 ら セ

△ 天城山行について、左記変更になりました。

○集合時間（九月十九日）

・乗車 P.M. 20:30 橋本駅
・乗車 P.M. 20:50 橋本駅
・費用 約二〇〇〇円

・コース 前月ニユースに記載した通りコース
を、とります。

※ 曰帰りの計画をたてましたが、

支部山行としては、時間的には無理と
思われますので、夜行曰帰りに変更します。

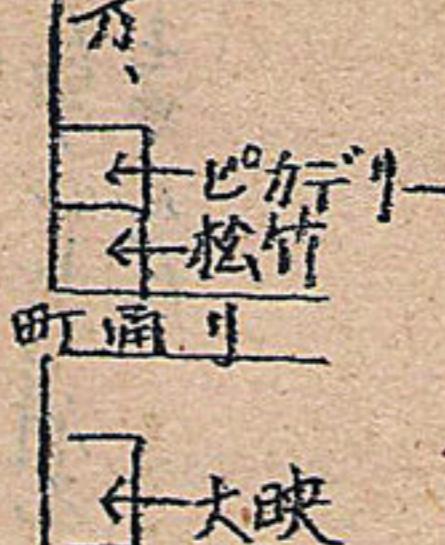
△

○準例会
何年ぶりかで、準例会を

やります。

通常の例会にござれないが、
山の詰や雑談で、一時を
過ごします。

新しい方も、どうぞ！



△

○ ひだり、原価算集
か22号を、巡回しますので
原価を、各人一編提出のこと。
(吉岡信子、佐々木美智子)

一

○ いつまでも、純毛毛ーとなく
友だちで、いよう
あすの日を、夢みて
希望の道を

○ 今日の日はさようなら

○ 二、空を飛ぶ鳥のように

○ 自由に生きる

○ 今日の日はさようなら
また会う日まで

三

○ 信じあう よろこびを
大切にしよう

○ 今日の日はさようなら
また会う日まで

○ 九月十七日(木)
大映前 ユー 小町
二階にて
P.M. 7:00より 休業

△

詩



こばなし

皆 夏の終りを帰つて いた
色とりどりにカーネルを飾つたテントも消え
若く鋭く、ひびいたエコーもやんだ
空は一層深くなり
山は一層高くなつた

岩に死んだ人のむくろを
野に焼いた葬いの日も過ぎた

痛しい追憶が冷えびえと
真晝を鳴く虫の音にまじつて流れゐる
茫然と立つ岩壁と
挽歌を歌う聲と
よごれて生きのこゝた雪沫と

ここにはもう誰もいない
ひろびろとかなしい不在が
季節の端を占めている

レマラヤの氷河でビバーグしていた、二人の
登山家が滑落し、氷河の末端まで落ちた。
一人が息をはずませながら
「オイ！早く逃げろ。でないと銃砲水にやられるぞ」
銃砲水？
「そうだ。落ちる時コンロの火を消すの忘れて
きたんだ。氷が融けて流れたり、命はないぜ！」
オソマツ

最近、山の汚水がひどくなつたと言ふことを
よく耳にする。そこで、たりないアタマで考えた
クリツフにハナガニを沢山入れて頂きに立つて、
「カニづめのあきカニ／＼食べのこりのパン！」
破けた三ヤツ／＼なんでもけつこう
すぐチリ紙と交換いたします」と、さけぶ
どうかね セニヨール セニヨリータ

(編集後記)

「だいぶ亂れた様だが来月は正常な人が印刷する
予定。でも初めてなので苦労したんですよ
理解してやってくださいネト」

10. 13 (5)

丹沢流れの沢

8月16日

参加者

石井春男(係)・久保田治・若田信子
 鈴木国之・渡辺由代・佐々木美智子
 斎藤隆子・疫田三世子・吉岡節子
 中野善雄・山田進・石川一男・善波英雄

コースタイム

大倉二・AM9:15発→時間15分)出合AM11:00発
 (3時間45分)大倉尾根湖2:45着

しかし、時々走ってくる車に、いやがましくたのは、一私だけだつたろうか。
 途中で岩登りの練習をしているクライマーを、
 横目で見ながら一時間たらずで流れの沢に出合に到着。初めてのワラジ使用にとまどいながらも、樂しいわしゃべりの小休止。

そして、いよいよ沢に入る。

二つの堰堤を無事に越えて、皆ビチャビチャと、水の音を立てながらまんざらでもない様子少ない水の流れをまるで大男が歩くように、無造作に水をけちらして進み、たゞした壠もなく登ってゆく。しかし、安心すると落穴があるようだ。アッタ!アッタ!五メートルもある壠

直登することになつた。取りつくとすぐ、シヤワ一のようになに顔一面に水が向つてくる。滑りやすかつたが足場はしつかりしていたので、全員無事登りきれた。

さて、一時に緊張が解けたのか、腹がすいてくる。さあそく滝の上で昼食の用意、昼食はもちろんゾーメン。そのおいしかったこと!! どりも軽く、いつしか私も、丹沢でありながらなんとなく深山に来たような気持になつて、足りなくなつた。手作りの水で作つたゾーメンは口当りがよいく。そして、見慣れていた丹沢の山々が、ついに初めて見る山の方にどつしりとしているの巴目にうつる。めまぐる山はいい。

△ 知らせる

△ 新しい仲間です。皆さんよろしく。

・鈴木利男

鶴見区鶴見町六七二 鈴木莊内

日本中の山を、目指しています。

・齋藤正夫

藤沢市生糸元町三ノ七ノ五

時間と費用の許るすかぎりどこでも行きます。

・工藤順三

横須賀市久里浜二ノ二一ノ二

北海道の産です。よろしく。

・青木美枝

横浜市中区本郷町二ノ五四

初めての山は、尾瀬
皆さん、よろしくね!

△ 個人山行

(兼 健青人 佐々木美智子)
中央アルアルス健走(木曾駒)
10月10日(12日)(二泊三日)

例会
10月14日

(木) P.M. 6:30

主催

於婦人会館
でお逢いましょうね!

・聖鑑先 碓
TEL 丸五一一四二二六
佐々木 八七一ト四一二二二
334吉岡 鈴木アテ

△ 個人山行
(紅葉の山へ、健脚向こ)
10月14日(木) P.M. 6:30

△ 行事報告

八月十二日

例会
於婦人会館

出席 29名

十六日

例会
於婦人会館

出席 13名

二十九日

例会
於婦人会館

出席 13名

例会
於婦人会館

出席 13名

△ 行事予定

九月廿九日(木)二十日

例会
於婦人会館

出席 13名

二十七日

例会
於婦人会館

出席 13名

十月十四日

例会
於婦人会館

出席 13名

三十日

例会
於婦人会館

出席 13名

三十日

例会
於婦人会館

出席 13名

NEWS

昭和45年10月14日発行
 S·H·C 横浜支店
 横浜市保土ヶ谷区保土谷
 1-24 鈴木口之
 編集・関野昌

第187回支那山行

静かな山 茅ヶ岳 (1760m)

11月15日(夜行日帰り)雨天中止

コース 新宿 → 菊崎 ^{タクシー} 柳平 --- 女岩 --- 茅ヶ岳
 --- 金ガ岳 --- 浅尾峠 --- 百観音 ---
 <又は金ガ岳 --- 觀音峠 --- 清川村 --- 甲府
 帰着 20:00頃の予定

歩程 約7時間

費用 約1700.- (タクシー代含む)

携行品 弁当2食、雨具、懐中電灯、防寒具、登山杖等

集合 11月4日(土) ²¹ 20時30分

横浜駅7・8番ホーム地下道上
 (新宿発23:55長野行乗車予定)

係 竹田 明 TEL531-2792 柳原 美智子
 (タクシー予約のため 2~3日前迄に連絡を)

茅ヶ岳山

茅ヶ岳、なんと優しい名でしょう。これは文字から受ける感じです。中央線を旅して

甲府を過ぎると

右側に裾野も長

く、八ツ岳

に似た山が

見える ア

ワテ者はよ

く八ツ岳な

どと云つて

いるが、こ

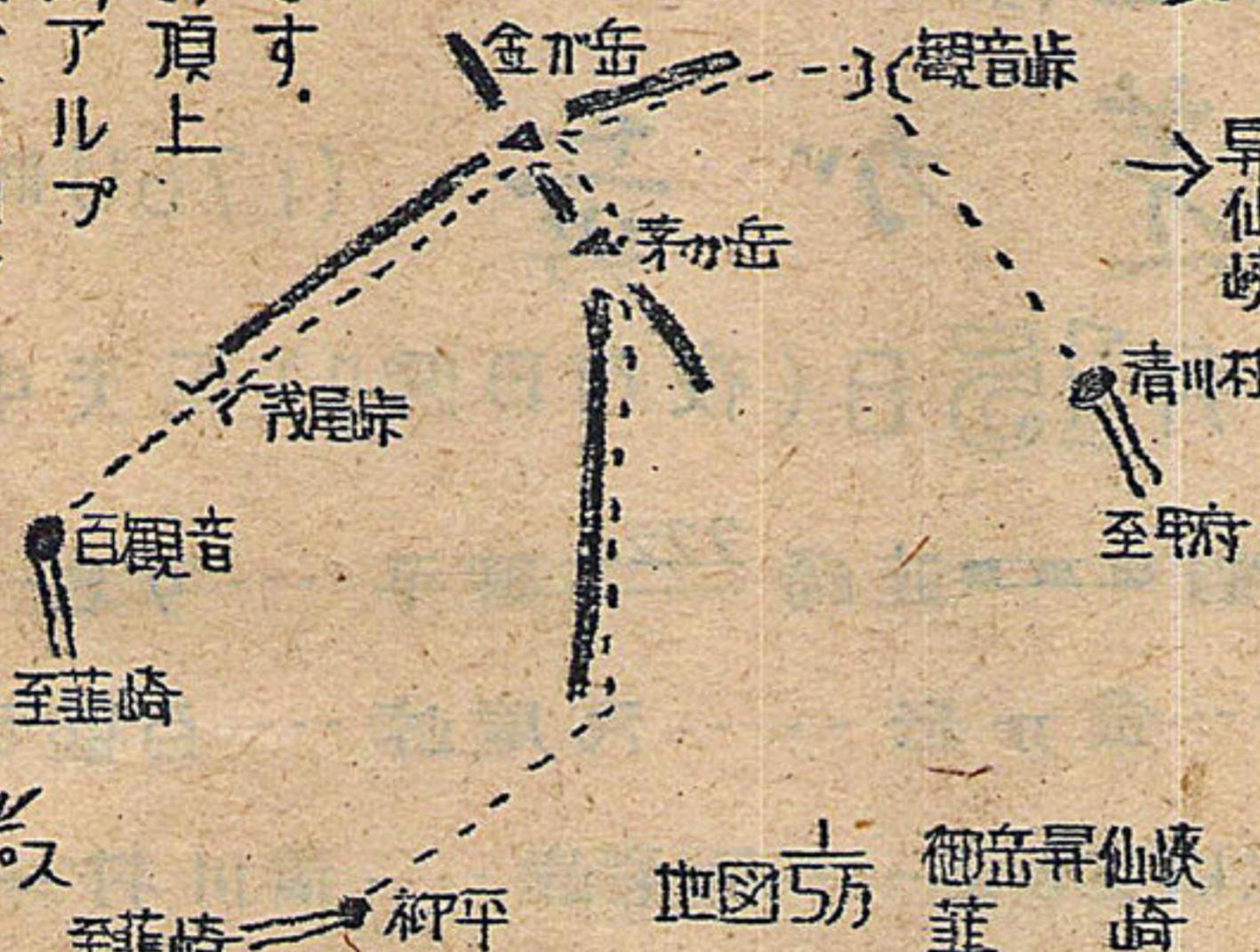
れが古い休

火山、茅ヶ岳です。

二等三角点の頂上

は、目の前に南アルプ

ス連峰から奥秩父の山々
八ツ岳、茂倉山などすばら
し、展望です。



支部山行報

8月29日

30

オ183回 秋川渓谷星竹合同キャンプ
参加者 中山一重(係) 鈴木国之
石井春男 中野善雄 鈴木利男
吉岡信子 佐々木美智子 阿部早苗
渡辺三世子 湯浅しおぶ 工藤邦子

他一名 計12名

8月29日

都合により三々五々集合したが、キャンプファイヤーの始まる20時までには全員到着。花火の合図で川原に集まる。ファイヤーのまわりでの合唱、支部ごとに自己紹介、フォーマンスと格別の思考もなく進み、なんとか解散となる。人数が多いせいか何かまとまりがありません。

さて、これから当支部の豪華なる晚餐、バーべキューの会食が始まる。お腹はすいているのですが、どうも肉の生焼が気になります。夜ふけまでさわいでいる人、多額の酒税を

8月30日

朝からショボ／＼雨が降っている。朝食をすまし、早々テントを撤回。帰宅組と山行組と別れて、この合同キャンプ地を後にする。

本部美ノ山新ハイキング・ラリー

★集合 11月8日 8時

池袋地下東武鉄道案内所前

★コース 池袋リ皆野リ鷲一臺山神社一美ノ

山一聖神社一黒谷リ池袋

★申込 新ハイまたは東武鉄道池袋案内所
★費用 約900円（申込金共）

過去5年間の忘年山行です

44年 43年 42年 41年 40年
年年年年年
丹沢 箱根 丹沢 大倉 福祉山荘
丹沢 大山 和仲荘
三浦海岸 宮城野 萩の里
丹沢 大山 民宿みなみ荘

（二へ？）（はど）（山行）（忘年）（45年）

蜀形山

▼ 11月1日 夜行日帰り
安達太良山

▼ 11月8日 夜行日帰り
蜀形山
TEL 241-5380

10月25日 夜行日帰り 健脚向

コース 上野日暮里一蓬崎一七ツ小屋山一大

源太山へ往復

費用 2000円

集合 横浜駅7・8番ホーム地下道上 20時
係 渡辺開代 西区浜松町4-1-21 (24)1818

。0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.0.

▼ 10月18日 夜行日帰り
蜀形山
大善寺
牛鳴通り

コース 遠山リ裂石一石丸峠一牛鳴通り

小向一水川

係 篠原清人 TEL 951-4226

係 篠原清人 TEL 951-4226

オ180回山行 大源太山

おしらせ

◇新しい仲間です。皆さんよろしく

◎茂木典幸

藤沢市辻堂元町4-13-18 神原方

◎吉岡哲男

川崎市大師駅前1-7-16 高木方

◎松川紀子

神奈川区松見町1-18-13

オ一松見住宅212

◎長島千恵子

金沢区釜利谷町3952

◎工藤邦子

金沢区富岡町2287

◇「じだ原稿募集

しだ22号の原稿を9月にお願いしましたが
締切は11月例会までです。

一係 吉岡信子 佐々木美智子

送先は 緑区長津田町1460 吉岡まで

◇11月のニュース担当者は内田栄子さんです。

行事事報止口

9月9日 例会 出席者41名 婦人会館

9月17日 準例会 出席者12名 ニューオー小町

9月20日 オ184回山行 天城山 雨天中止

9月27日 オ155回山行 矢倉岳 参加名

行 古事 予 定

10月25日 オ186回山行 大源太山 徒渡辺(園)

10月29日 準例会 婦人会館

11月11日 例会 婦人会館

11月15日 オ187回山行 茅ヶ岳 徒竹田柳原

導 例 会
10月29日(木)
19時~21時
「スライドのタベ」^録
婦 人 会 館

例 会
11月11日(水)
18時~21時
婦 人 会 館
(研究室)

NO. 136(1)

NEWS

昭和45年11月11日発行
S.H.C 横浜支部
横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町
1-24 鈴木口次方
編 責 内田栄子

第136回 支部山行

志年山行（丹沢大倉）

年に一度の志年山行 ふるって参加下さい。

日 12月5日～6日（雨天前行）

宿泊 大倉山の家

TEL 463(88) 2289

又は 2336

費用 宿泊費 1200円（一泊二食付）

交通費 223円 各自調べるニ。

集合場所

横浜駅 相鉄線～国鉄連絡口 19時
又は（小田急支沢 20時）

係 鈴木国之，石井春男

小屋予約のため11月末日までに連絡して下さい。

矢倉岳

9/27

参加者

脇美英子(係)

石山武 杉原照夫

小林正江 山田進

伊藤信子 吉原正夫

茂木典幸 工藤順三

他五名 計14名

前日の雨もどん吹く風、今日は天城のお流
れ租 横スカ粗が来て龜勢十四人・新松田で
通行手形をもらいバス二台で矢倉岳へ。

ここで我が新ハイの天田社長の御訓辭があり

た時半、どうぞうと矢倉岳へ向かう。頂上ま

での一時半、人か夕すぎてうくろく休むこ
ヒもでさすに頂上に着いてしまった。頂上で

は約二時間昼食、富士山を見ながら皆で歌を

うたい、一時過ぎに次のチエックポイントへ

出発、頂上からはこうがるよつに下り、後は

だらだらとして道でのんびりあしやべりしな

がら歩いているおばさん達がいたりして少々

遅れて水場に到着、十五分程休憩の後最後の

栗を取ろうとして、サックを落した人がいました。また、皆元気よく、酒水の壺へ到着しました。ここで抽選があり、我ら十四人中二人が軽登山靴、一人が地図と大変良い成績を当たりました。靴の当たった二人が二人ともお日あ天気を心配して電話をしたとは偶然とはいえ、おもしろい事ですね。二人は足りる軽く家路へ向いたへん結構モラリードした。(脇記)

大源太山

土樽着午前三時、満天の星を見ながら、暗闇の中を歩き出す。道がぐぐぐに進む頃、空は約二時間昼食、富士山を見ながら皆で歌をうたい、一時過ぎに次のチエックポイントへ出発、頂上からはこうがるよつに下り、後はだらだらとして道でのんびりあしやべりしながら歩いているおばさん達がいたりして少々遅れて水場に到着、十五分程休憩の後最後の栗を取ろうとして、サックを落した人がいました。また、皆元気よく、酒水の壺へ到着しました。ここで抽選があり、我ら十四人中二人が軽登山靴、一人が地図と大変良い成績を当たりました。靴の当たった二人が二人ともお日あ天気を心配して電話をしたとは偶然とはいえ、おもしろい事ですね。二人は足りる軽く家路へ向いたへん結構モラリードした。(脇記)

NO.136(3)

まつた。七ツ小屋山から太源太山をながめて、もし月が遙かにいら大源太の岩湯が恐いからいやだなと思つて、七ツ小屋から急な下りで、皆さんもどけてくるのがいやになつてしまつたらしく、中里へ下ろうと言ひだした。しかたなしに太源太にとりつく、ガスの晴れ太源太山頂に着く。9時15分、真近く巻機

うです。確かにそのとおりでした。池にボートがあるほかは、何もなく皆んながっかりしてしまいました。汽車の時刻に大分時間があつたのでキヤニオンで昼寝をしていたら、鎌木さんと松川さんが現われてびっくりしました。あれ日王樽に泊って、後から追いかけたそうですが最後まで追いつけず、残念でした。

参加者 久保田、山田、碇、佐々木(隆)
佐々木(美)、渡辺(三)、松井、渡辺(潤)
他二名

上野	22.13	土樽	2.59	S 3.15	蓬峰	6.45	S 7.30
七ツ小屋山	8.10	S 8.25	一	大源太山	9.15	S 9.30	
大出合	10.05	S 10.20	一	旭ヶ原(大源太キヤニオン)			
北越後中里	17.20	S 17.50					

山が見える。目の下に紅葉の屋根と小さな池
と中里のスキー場が目に入る。あまり風が強
いので早々に袖長ハ頂上を下る。強風にあわ
うれて急口下りを蓬木にしがみつくようにな
る。末の出合までの思ひ路に皆んな膝とがく
くさせて、何回もこうびながらようやく着き
ました。道は踏み跡ほど広いと言うことでし
たが、きれいに刈はらいされて全く心配なく
歩けました。途中で久保田さんが大源太キヤ
ニオソ行きました。大源太
キヤニオソなるものは、頂上から見えにくさ
な泡がさうでした。ちなみにキヤニオソと

おしらせ

▲中山一重さん

ご結婚おめでとうございます。

△住所は左記のとおりです。

飯田一重

横浜市中区伊勢佐木町

5の1-2ア

△住所変更

湯浅しのぶ

鎌倉市十二所ハタニ

高見様方

△「原稿募集」

締切11月20日消印まで有効・送り先
は正確の通り・絶対に書くこと・
と・

(行 事 報 告)

10月25日

オ 186回 山行

大源太山

10月29日

準例会 婦人会館

一行 事 齊定)

11月15日オ 187回 山行

茅ヶ丘 篠竹田柳原

12月9日 例会 婦人会館

11月26日 卒例会 19時～21時

婦人会館(和室)

12月5 5 6日

忘年山行(旅館木石井)

※次回係は中村佐々木組です・よろしく

：次回例会：

12月9日(木)

PM 6:30から

早めにキテネ!

(場所 女人会館)
(研究室)

：準例会：

11月26日(木)

PM 7～9マテ

(場所 婦人会館)
(和室)

NO 137 - 1

昭和45年12月9日発

5-H-C 横浜支会

横浜市保土谷区保土ヶ

1-24 鈴木国之介

編責・佐々木美智子

第189回支部山行

(伊豆) 鷲頭山 (一般向)

1月10日 (日)

<コース> 東京 — 沼津 — 馬場 — 徳倉山
鷲頭山 — 大平 — 沼津 — 横浜

<キップ> 発駅 — 沼津

<費用> 約1200円

<持ち物> 弁当・雨具・防寒具

<集合> 横浜駅 5・6番線ホーム 7:30分

<係り> 鈴木国之 渡辺三世子

<連絡先> TEL 045-741-2642 鈴木迄
申込みの必要なし。



天城山と、富士を望
すぐ下には逆光の沼
湾が見える尾根道で

徒歩 約5時間
地図 沼津

第187回支部山行報告

茅ヶ岳

11月15日

（参加者）

竹田明

柳原美智子

佐々木隆

善波英雄

吉原正夫

工藤順三

茂木典幸

宮川光男

渡辺廣代

松井百代

脇美英子

阿部早苗

他二名

莊崎の駅からタクシーに分乗して、一路柳平へ。霧深い山道をコツコツと歩きながら、今日は一日中ダメかも知れないと思つた。薄明るくなつた所で小休止、朝食とする。あたにかい味曾汁がおいしい。

ここから頂上まで一息。一七〇四メートルの茅ヶ岳山頂は、霧雨があたりを囲み何も見えない。けれど少しずつ皆となじんで、樂しい奮意気となる。

茅ヶ岳を背に、次にめざす金ヶ岳へと進む。一七六〇メートルの金ヶ岳の頂は、はつきり

した指導標もなく、どの峰がそれなのか私にはよく分らない。横なぐりの強いみぞれが降りだしたので、大急ぎで下山する。しかしここからの道がとても大変で、うかうかすると二・三メートル先の人を見失う轍こぎで、トゲある枝を払いのけ／＼すゝきをかきわけ、茶色一色の別世界を進む。

次オニヤツケからブラウス、ブラウスから下着へと全身びっしょりになり、腕がぐったり

していう事をきかなくなつてしまつた。やつとの思いで視界の開けた所にざると、休息所があり、みんな寒い／＼とい／＼ながら暖をとる。あつたかい紅茶をすすつては幸せだなあと思い、パンを食べてはおいしくと涙する。誰かが持つて来たハンバーグを、ハムを、玉子を油で焼いてみんなで食べる。みんな子供みたいにおいしい／＼と言う。

一番楽しかった一時に別れを告げて林道を歩くと前に開けたハツと、その裾野の美しさに、めつと驚く。一面の野菜畑を囲む様に

新雪をかぶったハツと、その広い／＼裾野。

希 望

ああ、ここに少しの間いる事が出来たら、どんなに幸せだろうビ、ちょっぴり未練を残して、楽しかった山行に別れを告げた。

(柳原記)

NO 137-3-

知床旅情

一 知床の岬に、ハマナスの咲く頃
思い出しておくれ、おれたちの事を
飲んでさわりで、丘に登れば、
はるかクナシリに、白夜は明ける

二 旅のなきか 酔うほどにさまよい
浜に出てみれば 月は照る波の上
君を今夜こそ だきしめんと
岩影によれば ピリカが笑う

三 希望という名の めなたをたずねて
涙ぐみつつ、また汽車に乗る
なぜ今わたしは 生きているのか
その時歌が ひくく聞こえる
なつかしい歌が、あなたのあの歌
希望という名の マーチがひびく
そうさあなたに、また逢うために
わたしの旅は、今まではじまる

♪ SONG ♪

一 希望という名の あなたをたずねて
遠い国へと また汽車に乗る。

あなたは昔の わたしの思い出
ふるごとの夢 はじめでの恋

けれどわたし、大人になつた日に
黙つてどこかへ立ち去つたあなた
いつかあなたは、また逢うまでは
わたしの旅は 終りのない旅

お知らせ

- ◆十一月より、左記の方が入会されまーた。
よろしくお願ひ致します。
- 熊川敬二 金沢区堀口12-31 幸荘内 同右
 - 水内和男 磐子区汐見台2-19-1
 - 坂上広志 I.S.C.社宅内
- ◆住所変更
○碇 清人 旭区鶴ヶ峰本町 一〇六四一三田
- ◆中村嘉宏さんが、十一月二十日、結婚致しました。おめでとうございます。
- ◆一月例会にて、恒例のおくり物交換を致しますので、一人二百円程度の物を用意して来て下さい。手紙を忘れずに入れてくれ。

行事報告

- | | | |
|--------|-----------|--------|
| 11月11日 | 定例会 | 於：婦人会館 |
| 11月15日 | 才187回支部山行 | 茅ヶ岳 |
| | (係)竹田・柳原 | 出席12名 |
| 11月26日 | 準例会 | 於：婦人会館 |

行事予定

- | | | |
|-------|-------------|--------|
| 1月12日 | 定例会 | 於：婦人会館 |
| 1月10日 | 才189回支部山行 | 鷲頭山 |
| | (係)鈴木・渡辺(三) | |

- | | | |
|-------|-----|-----------|
| 1月28日 | 準例会 | 於：婦人会館松の間 |
|-------|-----|-----------|

:例会:
1月12日(火)

火曜日だよ!!

PM 6:30~9:00
於 婦人会館 研究室

:準例会:
1月26日(木)

PM 7:00~9:00
於: 婦人会館 松の間



昭和46年1月12日発
S·H·C 横浜支
横浜市保土ヶ谷区 保土ヶ
1-24 鈴木口之
編責・関野 昌・内田英

今年も安全な山登りを
たくさん作りましたよ

おけましまして
あめでとう
さうと
さうと
まいります



オ 1 9 0 回 支 部 山 行

スキー 「志賀高原」

2月 7日～ 9日 (日～火)

“年に一回のスキー 大いにすゞりまくろう。

コース> 上野 → 長野 → 湯田中 ^{バス} 発哺温泉

費用> 約 7,200円 (含交通費、宿泊)

宿泊地> 発哺温泉 東館山荘 02693-4-2589

定員> 16名

集合場所> 横浜駅 8番線木一ム地下道上

2月 6日 (土) PM

上野発 0:20 湯田中行 急行志賀行き
乗車予定

携行品> スキー用具一式 防寒具 靴下予備

帽子 サングラス 洗面用具 こすり etc.

係> 腸 美英子 TEL 0463(22)1476

受付時間 PM 7:00～9:00

申し込みは 1月末日まで。

スキーと温泉 今年も大いに樂しみましょう。

どしどし 参加して下さい。但し 16名様限り。

第191回 支部山行

アンチスキー派の為に。

2月7日 三国山 (980m)

高尾山から三頭山へ連なる甲武・相国境尾根(笛尾根)のほぼ中央部に位置する小ピークで神奈
山梨、東京、三都県境界の接点であるところからこの
名前がついたそうです。冬枯の一日 ヤブ山歩きも
仲々趣のあるものです。

〈コース〉 東神奈川——八王子——上衆下(陣馬高)
—和田峠—ダイゴ丸—一生藤山—三国山
—上岩—上野原—八王子—横浜

〈歩行時間〉 約 6 時間

〈費用〉 約 800 円

〈集合時間および場所〉

東神奈川駅 横浜線木戸口大口寄最前
7:10分 (7時21分発八王子行乗車)

〈持っていくもの〉 防寒具 弁当一食 車手

〈地図〉 1/5万 上野原及び五日市

〈係〉 磐嶋 勝子 045-881-2286

破清人

支部山行報告

188

忘年山行（丹沢大倉）モニン沢 12月5・6日

参加者（係）鈴木口之 石井春男

園舞昌 佐々木隆 中野善男

石川一男 吉原正夫 工藤嶋三

茂木典幸 吉岡信子 佐々木美智子

足立又子 萩邊三世子 吉岡蘭子

福美栄子 阿部早苗 松井百代

大倉山の家に着くともう先登校はついてい
る。さつそく今山行のメーンイベント忘年会
の宴の幕をきる。食事が終った後はこの一年の各自の想い出の山行とか来年の抱負を語し
た後、歌を紅白に分かれ歌う。男性のひとは
だいぶアルコールがまわった人が出て、面白い
おかしく時回のたつのも忘れるほどであった。

行 事 予 定

翌日朝食をすまし、大倉山の家を9時に出

発、水素の林道をてくてく歩き全員モニンの

沢に入る。モニンの沢は小滝の連続で皆快調
に登る。ほどよい所で練習に手頃なところが
あつたのでサツフを置き空に挑戦する。2度3度同じところを登ったのでコソコソとつぶんだ
人も出てきた。クラブの女性はなかなか奮闘
熱心であるのには感心させられた。大滝を越えその上で昼食、鞍森まであと一
息。日の前には三ノ塔が見える。三ノ塔を大
山と面識がある人があつたが、皆さんを笑わ
せうとしたのであろう。道は大倉尾根の翻土
の茶屋に出る。ここで一眠り、群馬もまた早い
つたので眠けが出てくる。時自もまた早い
でちんたらと大倉尾根を下る。

12月9日

1月の準例会は、来年度の山行地の茶屋を候
討しますので、委員会及び一般の方へ特に新し
い人の出席を望みます。

行 事 予 定

12月9日 別会 出席者万名 師人会館

1月28日 準例会 師人会館 松の洞

2月7日 9日 オリジナル山行 スキー 係 動

昭和46年2月10日発行

S·H·C 横浜支部

横浜市保土ヶ谷区保土ヶ谷町

1-24

鈴木国之

編著 磯島恵子

*192回支部山行

乾徳山から黒金山

3月21日(日)一夜行日帰

○コース

新宿 ~~塩山~~ 塩山 —— 徳和 ----- 錦晶水 —— 扇平 ——
 乾徳山 —— 笠盛山 ----- 黒金山 ----- 大ダオ(富士見峠)
 ----- 東奥山窪出合 ----- 徳和 —— 塩山 ~~八王子~~ 八王子

○歩 程 約9時間30分

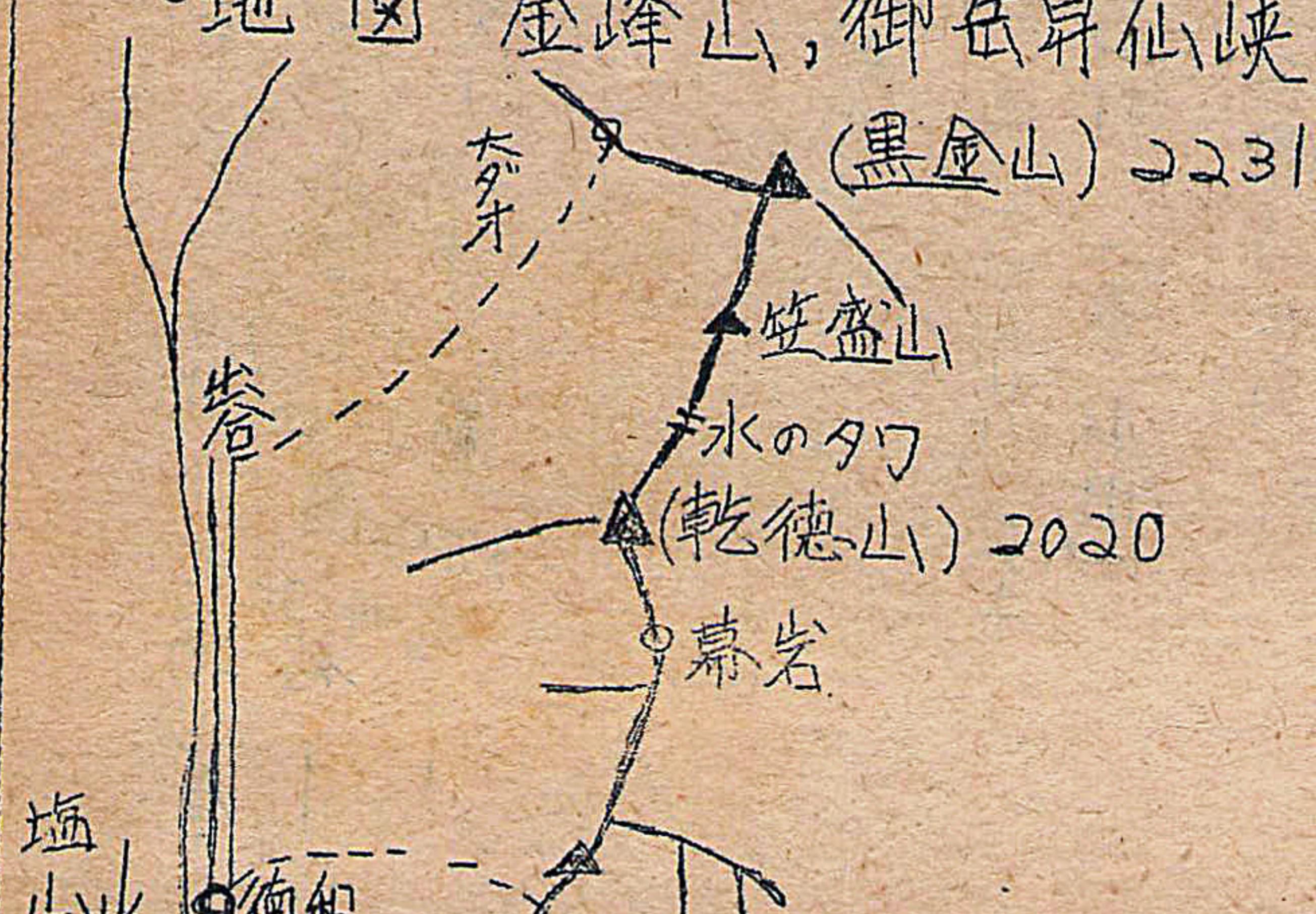
○費 用 約2,000円

○携行品 弁当2食分、雨具、水筒、懐中電灯、スパッツ

○集 合 横浜駅7,8番線地下道上 P.M 9:00

○係 石川一男 TEL (761) 1317

○地 図 金峰山、御岳昇仙峡



樹林、草原、岩場
 そして、秩父、南ア、富士
 の広大な展望と三拍
 子も四拍子も、私達を
 懸念する要素をそなえた
 すばらしい山です。

鷲頭山

一月十日

参加者

鈴木國之・渡辺三世子(係)
飯田一重・久保田治・吉岡信子・
関野昌・石山武・渡辺閑代・
竹田明・齊藤隆子・中野善雄・
勝美英子・阿部早苗・伊藤信子・
小林正江・青木美枝・ETC 10名

(計 26名)

静岡行の列車が沼津に着いた時は、總勢26名になっていた。沼津山中で自己紹介。本都山行を兼ねているので初対面の人もかなりいる。まずは、徳倉山。山頂直下の鞍部まで快適に進む。ここから急で足がかりのない道をワンピックで登ると、眼前が急に開ける。三角点のやぐらのところには、狩野川を中心とした沼津の市街が、箱庭のようにおさめられていて

る。一息入れてから鞍部まで戻り、そこから鷲頭山めがけて進む。右手に駿河湾を臨み、遠く富士製紙工場の白煙と田子の浦、近くに牛臥山と美しく展開されていく。気がて海めがけて落ちるように入家が、大きく見える地点まで下りきると、今度はゆるやかに登り返す。前方に鷲頭山、右手に逆光の内浦湾、ふりかえれば真白な富士、という絶景の地にとび出すと楽しい食事になる。熱い紅茶がおいしい。暖かい日、さしのもとでゆっくりしてから出発とする。

山頂を踏むまでには、急ですぐりやすい露岩を通らねばならなかつたが、展望は一段と牙也冬の日は飽きでも坂かい。静かだ、た山頂を我等一行で占領すると、急にたぎやかになる。一息入水でから記念撮影し、名残り惜しいが一路大平へと下る。一日中陽が照らないうしく、凍った道はすぐりやすい。鳥居を過ぎるともう人家が現われ、山路と別れ畠の間を経うように抜けると、バス停留所はもうすぐそこである。(渡辺三記)

“お知らせ”

△新しい仲間です 皆さんよろしく

・阿部早苗

横須賀市鴨居 二一四五—五

一月十日

カ一九〇回支都山行 鶯頭山

参加 二十六名

・旗野俊一

横浜市瀬谷区瀬谷町 二三七九—一三二

△行事予定

三月二十一日 カ一九二回支都山行

乾徳山・黒金山(係 石川)

三月十日 例会
於婦人会館

△本部の継続会費の支払手続は
吉岡さんまでおねがいします。

・横山勝利

藤沢市入町 八三九

△行事報告

一月十二日 例会

於婦人会館 出席 三十名

例会
3月10日
(水)

P.M. 6:30 ポリ

於 横浜市
婦人会館

お逢い
しましょうね!